

令和2年度 事業報告書

自 令和 2年4月 1日

至 令和 3年3月31日

社会福祉法人 新見市社会福祉協議会

令和2年度 事業報告書

【概要】

令和2年度は、第3次新見市地域福祉活動計画の初年度にあたり、新たな気持ちで各種事業に取り組むこととしておりましたが、昨年度終盤から発生したコロナ感染症のため、1年間、コロナ対策に明け暮れる中での事業遂行となりました。本会は、地域福祉の推進と介護保険を中心とした事業実施や各種相談・支援で多くの方と接する機会があるため、徹底した感染症対策を行って参りましたが、事業をやむなく中止・縮小せざるを得ない状況も発生しました。

こうした状況下の中でも、地域のニーズやつながりのあり方について見直し、従来の事業や活動をより充実した内容としていくため、様々な工夫をこらしながら、市民の皆さんや関係者の協力を得ながら事業計画に掲げた事業については、概ね実施することができました。

事業計画に定めた3つの基本目標ごとに事業の成果について概要を説明します。

まず、「基本目標1 福祉の心を育てよう」では、11月15日に社協合併15周年記念福祉大会を、関係者等の出席により盛大に開催することができました。また、新たに開設したフェイスブックや社協だよりを通じて情報提供するとともに、各種情報媒体によって本会の活動をたびたび記事や映像として発信し、本会への理解や福祉意識の啓発に繋がったものと考えております。

福祉教育の推進では、コロナ禍のため、ボランティア体験事業を中止し、当事者等を講師とした出前福祉教室を開催するなど、その充実に努め支え合いの心を醸成しました。

8月30日に開催した災害ボランティア養成講座では、感染症対策を踏まえたボランティアセンター設置・運営等の訓練を行い、参加者全員に災害ボランティアとして登録していただくとともに、災害時に円滑な対応ができるよう設置・運営マニュアルを作成しました。聴き上手さん養成講座では、傾聴ボランティアの養成を行うことができたのですが、手話講座については、中止せざるを得ませんでした。

次に「基本目標2 とともに支えあおう」では、サロン事業や地区社協の活動、友愛訪問事業など集いや訪問等の各種活動が中止・縮小、あるいは大きな制約を受けましたが、関係者等の努力により、色々な方法で実施されるとともに、5月には、新たに「つながろう」をキーワードに“笑顔”結びプロジェクトを開始、また、その第2弾として、9月には「笑顔を結ぶ」をテーマにフォトコンテストを実施し、介護予防や孤立感・不安感の解消を図りました。

地域共生社会への取組も、7月頃から、地域住民、行政、関係機関が連携・協働してワークショップや研修会・小地域ケア会議等が開催され、4地区において組織が設立されるとともに、他の地域においても、地域支えあいの組織設立に向けての取組が進んできました。また、11月から4回に渡って、「無理しない地域づくり講座」を開催し、地域活動の担い手の育成に取り組みました。

次に「基本目標3 福祉環境の充実を図ろう」では、新見市生活相談支援センター・新見市成年後見相談センターを中心として、様々な相談に対してきめ細やかな支援を行ってまいりました。

生活相談支援センターでは、コロナによる休業や失業による生活資金に困った方への緊急小口資金・総合支援資金の窓口として、また、8月には、フードドライブ事業とこども・おとな食堂（ぴおーら食堂）を同時に実施した「緊急！心配ごと相談会」を開催し、生活困窮者に対する相談や支援を行いました。

成年後見相談センターでは、12月に権利擁護推進セミナーを開催するなど、成年後見制度についての普及・啓発や、判断能力が不十分な方が地域で安心して生活できるよう相談支援を行うとともに、法人後見事業に取り組んでまいりました。

また、社会福祉法人連絡協議会では、法人運営、災害支援、生活困窮支援の3つの事業推進会議を設置し、制度の狭間の方への支援など公益的な取組について研究するとともに、施設の周知を目的に社会福祉法人ガイドブックを作成し、高校、大学や関係機関に配布しました。

3つの基本目標に加え本会が実施している介護保険事業については、大変厳しい状況ではありますが、利用者の立場に立った質の高いサービスの提供に努めるとともに、職員体制や処遇改善、次年度に向けての経費の見直しなど安定した事業運営が進められるよう取り組んでまいりました。

法人運営では、組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の確保、コンプライアンスの徹底に努めるとともに、行政とのパートナーシップの強化も図ってまいりました。また、新たに設置した総合経営

企画室において、事業の効率化、収入の確保、経費削減等に取り組み、その成果も令和3年度には大きく現れてくるものと考えております。

各事業の実施状況については次のとおりです。

法人運営事業

【 理事会 】

	開催期日	議 長	署名監事	主 な 議 案
1回	令和2年 6月12日	逸見 孝明	大本 正治 山本 一夫	◇令和元年度事業報告・決算 ◇資金収支補正予算（第1号） ◇評議員候補者の推薦 ◇評議員選任・解任委員会の委員の選任 ◇定時評議員会の開催 ◇（報告）会長・常務理事職務執行状況 ◇（報告）予備費の充当
2回	令和2年 9月25日	逸見 孝明	大本 正治 山本 一夫	◇介護職員の処遇改善に関する規程の制定 ◇登録ホームヘルパー就業規程の一部改正 ◇（報告）介護職員処遇改善計画 ◇（報告）予備費の充当
3回	令和2年 12月16日	逸見 孝明	大本 正治 山本 一夫	◇資金収支補正予算（第2号） ◇理事候補者の推薦 ◇評議員会の開催 ◇（報告）会長・常務理事職務執行状況 ◇（報告）介護保険事業所実地指導の結果
4回	令和3年 3月17日	逸見 孝明	大本 正治	◇資金収支補正予算（第3号） ◇規程の一部改正（4規程） ◇評議員選任・解任委員会の委員の選任 ◇令和3年度事業計画・資金収支予算 ◇評議員会の開催 ◇（報告）日常生活自立支援事業実施状況調査 ◇（報告）事業評価委員会の結果

【 評議員会 】

	開催期日	議 長	署名評議員	主 な 議 案
1回	令和2年 6月26日	藤村 晃	安立 由輝 前田 五郎	◇令和元年度事業報告・決算 ◇資金収支補正予算（第1号）
2回	令和2年 12月23日	山室 邦治	上田 睦美 林 節子	◇資金収支補正予算（第2号） ◇理事の選任について
3回	令和3年 3月24日	藤井 芳和	笹田 礼子 山形 勝江	◇資金収支補正予算（第3号） ◇令和3年度事業計画・資金収支予算 ◇（報告）事業評価委員会の結果

【 各種委員会 】

地域福祉活動基金運営委員会		設 置 平成17年10月1日
委員構成（6人）	◇社協理事5人 ◇行政関係者1人	
内 容	◇地域福祉活動基金の管理運営及び基金による事業の実施についての審議を行う。	
開催状況	期 日：令和2年12月16日（水） 5人出席 協議内容：令和2年度基金の運用状況について 令和3年度基金の運用について	

評議員選任・解任委員会		設 置 平成29年3月29日
委員構成 (5人)	◇外部委員5人	
内 容	◇評議員の選任・解任の審議を行う。	
開催状況	期 日：令和2年6月16日(火) 4人出席 協議内容：委員長の選任について 評議員(1人)の選任について	

事業評価委員会		設 置 平成23年12月22日
委員構成 (6人)	◇社協理事3人 ◇社協評議員1人 ◇社協監事1人 ◇行政関係者1人	
内 容	◇事業の進捗状況を把握し、評価を行う。	
開催状況	期 日：令和3年2月22日(月) 5人出席 協議内容：令和2年度の事業評価(33事業)について	

【 寄附金 】

内 訳	令和2年度		令和元年度	
	件数(件)	寄附額(円)	件数(件)	寄附額(円)
香典返し寄附金	157	3,930,000	168	3,350,000
退院内祝い寄附金	6	70,000	10	170,000
一般寄附・その他	9	354,587	25	319,460
合 計	172	4,354,587	203	3,839,460

【 会員会費 】

◇地域住民、団体等が会員となり、福祉意識の高揚と住民主体の活動推進を図ることを目的とする。

会員の種類	令和2年度		令和元年度	
	会員数(口)	納入額(円)	会員数(口)	納入額(円)
普通会員	7,942	7,571,500	7,992	7,631,000
賛助会員	50	150,000	49	147,000
特別会員	238	1,190,000	219	1,205,000
計	8,230	8,911,500	8,260	8,983,000

普通会員の加入状況	令和2年度	令和元年度
依頼世帯	9,582世帯	9,770世帯
加入世帯	7,942世帯	7,992世帯
加入率	82.9%	81.8%

【基金運営事業】

(令和2年度 地域福祉活動基金運用実績)

収入内訳	利 息 等	備 考
国債利息	300,000円	額面1億円
定期預金	80,119円	額面50,000千円(2口)
基金運用益合計	380,119円	

(支出項目) 福祉委員設置活動推進、心配ごと相談、友愛訪問事業に充当。

【 新見市地域福祉センター貸館事業 】

利用件数	189件	
利用料合計	342,420円	

【 福祉用具貸出事業 】

車いす貸出件数	35件	
電動ベッド貸出件数	6件	

【 職員研修 】

期日	内容	参加者
令和2年11月26日 令和2年11月27日	・社協の災害時の取組について ・第3次新見市地域福祉活動計画について	40人
令和3年 3月24日	・社協が行う介護サービス事業について ・社協が行う相談支援事業について	42人

地域福祉事業

1. 福祉の心を育てよう

事業名	内容	備考(期日・場所等)
福祉大会	◇表彰 ・福祉功労表彰 7団体等7団体等) ・感謝状 1団体 ・永年勤続表彰 6名 ・「笑顔を結ぶ」フォトコンテスト表彰25作品 ◇基調講演：講師 桂三風氏 ◇落語・歌声コーナー 落語家 桂三風氏 ピアニスト江村華織氏	11/15 まなび広場にいみ 地域福祉・ボランティア功労者 社会福祉法人恵愛会 永年勤続社協職員 応募総数65作品（最優秀1点、優秀賞2点、特別賞2点、入賞20点）
福祉情報発信	◇公式 Facebook の開設 ◇社協だよりの作成・発送 ◇ホームページでの情報発信	5/25 年6回（奇数月） 随時更新
社協会員の加入促進	◇普通会员・賛助会員・特別会員の募集	7月から依頼
赤い羽根 共同募金運動	◇戸別募金・職域募金・学校募金等	10/1～12/31
	◇街頭募金	10/1 サンパーク新見、にいみプラザ 10/17 A コープあしん駐車場
	◇大口募金の推進	社協役員・評議員で全域において普及推進
	◇広報・啓発 「共同募金研修会」実施	8/7 社協役職員、民生委員、行政職員等 48名
赤い羽根 共同募金 配分金事業	◇一般配分金 ・地域福祉活動推進、福祉教育推進 ・研修、子育て支援、給食サービス、 団体活動助成の各事業に充当	
歳末 たすけあい 募金運動	◇戸別募金	12/1～12/31

<p>歳末 たすけあい 配分金事業</p>	<p>◇歳末たすけあい訪問 ①満 80 歳以上の高齢者のみの世帯 ②重度心身障がい者 ③準要保護児童・生徒のいる世帯 ④75～79 歳のひとり暮らし高齢者 ⑤生活に困窮している世帯 ※②④⑤は市県民税非課税者 ◇学校等への図書カード配布</p>	<p>1, 272 世帯 ① 1, 170 世帯 ② 20 世帯 ③ 63 世帯 ④ 18 世帯 ⑤ 1 世帯 認定こども園、保育所、小中学校等 38 校</p>
<p>小学生向け福 祉教育(ちょボ ラ)</p>	<p>◇小学生ちょボラ実践 ・ちょボラノートによる活動実施 ・事前の説明会 ◇活動報告書(福祉だより)の作成・配 布</p>	<p>418 人中 397 人実践 継続取組校 15 校 希望された 3 校で実施 各小学校</p>
<p>夏のボラン ティア体験 (※第 25 回)</p>	<p>◇新型コロナウイルス感染症対策のため従来の施設でのボランティア体験を中止し、代替案として出前型福祉教室として実施。</p>	<p>12/8 新見第一中学校 1 年生 28 名 「障がい」について学ぼう 12/22 新見高校北校地 3 年生 7 名 災害ボランティアについて学ぼう 2/8 新見南中学校 1 年生 36 名 「障がい」について学ぼう</p>
<p>出前福祉教室</p>	<p>◇出前福祉教室 ・地域のニーズに応じた講座を実施 ・高齢者疑似体験、車いす体験、共同 募金、権利擁護、認知症理解等 ◇手話サークルの活動支援 ・小学校での出前手話講座の開催 7/3 高尾小学校</p>	<p>実施件数 14 件 (内訳：小中学校 8 件、一般 6 件) 小中学校：井倉小(高齢者疑似体験・車いす 体験)、新見南小(高齢者疑似体験)、西方小 (車いす体験)、萬歳小(高齢者疑似体験)、 塩城小(高齢者疑似体験)、南中(高齢者疑似 体験・車いす体験) 一般：草西サロン(権利擁護)、千屋民協(共 同募金)、正田サロン(認知症理解)、新見地 区老連(権利擁護)、菅生老ク(認知症理解)、 神郷老連(介護予防)</p>
<p>災害ボランテ ィア推進事業</p>	<p>◇災害ボランティア養成講座 ・平成 30 年 7 月・令和元年 9 月豪雨災 害における新見市災害 VC をふり返り ・災害 VO、災害 VC とは ・感染症流行下における災害 VC 運営の 考え方 ・感染症流行下における災害 VC 設置演 習(職員研修を兼ねて実施)</p>	<p>8/30 新見市地域福祉センター 参加者 77 名 (内訳：一般 33 名、新見 JC 8 名、市職員 3 名、新見市社協職員 23 名、その他 10 名 (県社協・他市社協、報道機関)) 災害ボランティア登録者：43 名</p>
<p>傾聴ボランテ ィア推進事業</p>	<p>◇傾聴ボランティア訪問 ・2 件、延べ 6 回訪問 ◇聴き上手さん養成講座 講師：笑彩風 秋田智恵子氏 「聴き方のコツを学ぶ」</p>	<p>個人宅 活動ボランティア数 1 名 R3. 1/25 参加者 24 名 新規ボランティア登録者：6 名 傾聴ボランティア登録者数：16 名</p>
<p>手話講座 (受託事業)</p>	<p>◇手話奉仕員養成講座(基礎課程) ※新型コロナウイルス感染症流行のため中止</p>	
<p>ボランティア・ N P O 団体連 携事業</p>	<p>◇ボランティア・NPO 団体の把握 ・団体の把握内容や把握後の方向性を 検討 ・市内の既存団体の情報収集と調査</p>	<p>実際の調査は令和 3 年度実施予定</p>

2. ともに支えあおう

事業名	内容	備考(期日・場所等)
ふれあい いきいきサロン (受託事業)	◇各地区でふれあいいきいきサロン実施:69 サロン(新見 46 サロン、大佐 7 サロン、神郷 7 サロン、哲多 7 サロン、哲西 2 サロン)	活動場所 公民館・集会所等 開催回数 延べ 457 回 参加者 延べ 4,790 人(うち 20 歳未満 14 人)
	◇コロナにより未実施または休会・未実施 7 サロン、休会 3 サロン ◇自主サロンとして実施:1サロン	
	◇サロン交流会(4 回実施) ・神郷・哲西地区 ・大佐地区 ・哲多地区 ・旧新見地区	サロンやカフェ等の活動者同士の情報交換 12/3 神郷地域福祉センター 参加者 8 人 12/8 おおさ総合センター 参加者 11 人 12/10 哲多総合センター 参加者 8 人 2/5 まなび広場にいみ 参加者 38 人 参加サロン延べ 32 サロン(うち廃止サロン 1) 一般参加 4 人
	◇げんき広場インストラクター派遣	公民館・集会所等 39 か所
	◇活動拠点整備費事業	一次・二次募集 助成金申請 0 サロン
	◇活動・立上げ推進(随時) ◇パンフレット作成 ◇新型コロナウイルス感染症の予防啓発チラシの作成・配布 ◇各サロンへの消毒液の配布 ◇「ふれあいいきいきサロンの合言葉」作成	
ひだまりサロン	◇ひだまりサロン実施 3 サロン	活動場所 ほほえみ広場ほか 開催回数 延べ 12 回 参加者 延べ 57 人
子育て 支援事業	◇子育てカレッジ事務局会議・運営協議会等に参加 ◇地域子育て支援者研修会	子育てカレッジ事務局会議 11 回参加 子育てカレッジ運営委員会 3 回参加 子育て支援者研修会 4 回
	◇大佐地区子ども交流会 ・実施主体:子育てクラブおおさ ・夏・春ともに新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
	◇子どもがつなぐ地域の和事業	実施希望地区なし
福祉委員設置 活動支援	◇福祉委員の設置(委嘱状交付)	748 地区 856 人に委嘱
	◇第 1 回 福祉連絡会(全地区対象) ・福祉委員の役割説明等	市内 34 会場 参加者延べ 716 人
	◇第 2 回 福祉連絡会(全地区対象) ・地域課題について	市内 17 会場 参加者延べ 334 人
	◇第 3 回 福祉連絡会 ・地域課題について、今年度まとめ等	市内 6 会場 参加者延べ 73 人
独居高齢者宅 戸別訪問事業 (受託事業)	◇80 歳以上独居高齢者世帯訪問 支所別実績(月平均) 本所 321 人、大佐 25 人、神郷 34 人 哲多 48 人、哲西 36 人	訪問回数延べ 5,567 回 介護保険サービスを利用していない方が対象

友愛訪問事業	<p>◇75 歳以上ひとり暮らし高齢者世帯・80 歳以上高齢者のみの世帯を対象に実施 (地区別)新見 1,011 人 3,032 回 大佐 149 人 448 回、神郷 140 人 421 回 哲多 142 人 425 回、哲西 161 人 484 回</p> <p>◇友愛訪問事業説明会(5 回実施)</p>	各地区年 3 回実施 訪問回数延べ 4,810 回 ※思誠地区のみ年 2 回の実施 (地区独自にお便りを送付)
地域ささえあい 推進事業(市受 託事業) (担当職員数) ・1層 2名 ・2層 4名	◇小地域ケア会議の開催 ・全 39 地区中 31 地区で実施	開催回数延べ 34 回、参加者延べ 748 人
	◇小地域ケア・地区社協代表者会	3/16 新見市役所南庁舎 参加者 44 人
	◇地域資源の把握・整理 ・生活支援サービスの把握 「にいま暮らしを支えるサービス一覧表」の作成 ・集いの場の把握・推進 「集いの場ガイドブック」作成 ・福祉連絡会、小地域ケア会議においてニーズ把握 ・小地域での取組紹介 「地域活動コレクション ver.2」の作成	社協・市ホームページに掲載 各種会議・研修会などで配布、更新 1 回 87 会場
	◇サービスの開発・マッチング ・小地域ケア会議(第 2 層協議体)において課題解決に向けての協議の実施 全 39 地区中 31 地区で実施 ・ニーズ把握(アンケート) ・見守り訪問活動 ・支え合い活動 ・基盤組織づくり ・集いの場づくり ・支え合い活動推進、地域課題に基づく研修 ・広報活動 ◇その他 ・笑顔結びプロジェクト コロナ禍における新たな人とのつながりづくりの啓発	開催回数延べ 34 回、参加者延べ 748 人 5 地区(正田、豊永、神郷、刑部、哲多) 2 地区(上市、思誠) 3 地区(蚊家、熊野、豊永) 7 地区(上熊谷、足立、千屋、田治部、蚊家、哲西、下熊谷) 2 地区(上熊谷、神郷南) 3 地区(大佐、足立、哲西) 1 地区(神郷南)かわら版作成 チラシ作成、HP、Facebookにて啓発
◇関係者のネットワーク化 ・新見市地域ケア推進会議(第 1 層協議体)説明会 【職員向け研修会】 【2 層 SC 市民センター管内】 【2 層 SC ふれあいセンター管内】 ・第 2 層生活支援コーディネーター訪問研修 ・社協第 1、2 層生活支援コーディネーター情報交換会 ・新見市地域ケア個別会議への参画	12/9 新見市役所 参加者 34 名 12/3 新見市役所 参加者 12 名 12/22, 12/23 新見公民館ほか 5 会場 参加者 18 名 草間公民館、ほか 5 か所 延べ 23 人 5/14, 6/18, 7/29, 12/18, 1/25, 2/17 6 回 参加者延べ 36 人 5/21, 7/30, 8/20, 10/22, 11/19, 12/17, 1/21, 2/18	

地区社会福祉協議会の支援	◇地区社協の支援 ・地区民協への情報提供 ・地区社協活動アンケート調査の実施	地区担当による支援 「新しい生活様式での地域活動チラシ」作成 2/22～3/5 46 地区社協へ送付
	◇小地域福祉活動計画策定支援 ・アンケート結果に基づく計画策定に向けてのワークショップの支援 【上熊谷地区】 【千屋地区】 【田治部地区】 【土橋地区】 【下熊谷地区】 【草間地区】 ◇地域運営組織設立に向けての協議(福祉部設置による組織強化)	6/28 塩城小学校 参加者 42 人 7/15 千屋小学校 参加者 75 名 7/ 4 旧田治部小学校 参加者 70 名 10/3 土橋交流センター 参加者 49 名 2/21 旧下熊谷小学校 参加者 60 名 2/14 旧草間中学校 参加者 70 名 11 地区 (福本、足立、千屋、草間、土橋、菅生、上熊谷、下熊谷、田治部、蚊家、哲西)
無理しない地域づくり講座	地域活動の担い手や協力者を増やすために、無理なく楽しく取り組むきっかけづくりを行う講座を4回の日程で実施 講師 (有)エコカレッジ 代表取締役 尾野寛明氏	11/21.12/19.1/16.2/13(4回の日程) 受講者 12 名 地域福祉センター

3. 福祉環境の充実を図ろう

事業名	内容	備考(期日・場所等)
なんでも相談会	◇なんでも相談会	※新型コロナウイルス感染症予防のため中止
心配ごと相談	◇民生委員児童委員による相談 ・本所 毎月第1・3水曜日 年23回 ・大佐 年7回 ・神郷 年4回 ・哲多 年6回 ・哲西 年12回 ◇よろず相談：随時相談受付	地域福祉センター他 相談件数12件 おおさ総合センター他 相談件数2件 やまびこ広場他 相談件数0件 哲多総合センター 相談件数0件 きらめき広場・哲西 相談件数10件 相談件数127件
法律相談 (受託事業)	◇弁護士による専門相談 ・毎月第3水曜日	新見市役所南庁舎 相談件数延べ73件
生活困窮者自立支援事業 家計改善支援事業 (受託事業)	◇生活保護に至る前の生活困窮者に対する相談支援 ・新規相談受付件数73件 ・自立相談支援プラン策定者5人 ・家計相談支援プラン策定者2人 ◇緊急支援(食料給付)37件、(現金給付)9件、(食料給付+現金給付)10件 ◇フードドライブ事業の実施 ◇生活相談支援関係機関実務者連絡会議1回実施 ◇ささえあいの地域づくり研修会 ◇「緊急！！心配ごと相談会」の実施 ・心配ごと相談会 ・ぴおーら食堂 ・フードドライブ事業 ◇新見公立大学生への食糧支援	延べ支援回数1,017回 延べ56人に支援を実施 119人から1,795点の寄付 2/26 第1回連絡会 15人参加 (アドバイザー岡山県社協角南主事) R2.7/7(市民児協共催) 8/19,26 中央共同募金会より80万円助成 相談件数延べ9件 利用者延べ51人 26件165点寄付 12/9 希望者130名へ配付

<p>法人後見・権利擁護推進事業</p>	<p>◇法人後見事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会議(関係機関・内部) ・法人後見運営委員会 ・権利擁護支援検討委員会 ・法人後見事業受任 10 件 (内1件は終了) <p>◇成年後見制度利用相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数延 61 件 ・法人後見等移行支援 0 件 <p>◇成年後見制度・権利擁護の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にいみ権利擁護推進セミナー ・成年後見制度出前講座 哲西高齢者いきいき支援協議会 大佐地区民協 老人クラブ連合会 介護者の集い 10 人 ・成年後見制度パンフレットの作成 ・社協だより掲載 <p>◇市民後見人養成講座受講</p> <p>◇成年後見制度アンケートの実施</p>	<p>4 回開催 3 回開催 0 回開催</p> <p>専門職との複数後見 4 件(内1件終了)、社協単独後見 6 件 合計 10 件 ※新見市成年後見相談センター</p> <p>12/12 まなび広場小ホール 参加者 81 人</p> <p>7/7 参加者 10 人 10/15 参加者 17 人 11/13 参加者 60 人 2/20 参加者 10 人</p> <p>年 4 回掲載 ※津山市権利擁護センター主催 ・職員 4 人、市民 2 人 計 6 人 12/12 にいみ権利擁護セミナーにて</p>
<p>日常生活自立支援事業(受託事業)</p>	<p>◇判断能力が不十分な方の書類手続及び金銭管理支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援員(活動)7 人(登録)4 人 ・相談件数 80 件、支援回数 359 回 	<p>(利用者の内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者 5 人 ・知的障がい者 11 人 ・精神障がい者 3 人 計 19 人(うち新規 1 人) ・解約者 3 人 <p>(自己管理 2 人、後見制度へ移行 1 人)</p>
<p>生活福祉資金貸付事業(受託事業)</p>	<p>◇低所得・障がい者世帯等への資金貸付により、世帯の自立を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 9 件 <p>◇新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業等により減収した方を対象とした貸付相談</p>	<p>(相談の内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉費 1 件 ・緊急小口資金 7 件 ・教育支援資金 1 件 ・償還継続中 16 件(措置含む) ・緊急小口資金特例貸付 39 件 ・総合支援資金特例貸付 30 件 ・総合支援資金特例貸付(延長) 13 件 ・総合支援資金特例貸付(再貸付) 8 件 ・特例貸付相談のみ 15 件
<p>家族介護者の集い・くつろぎの家</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 コロナのため中止 ・第2回 筆文字教室・お楽しみタイム ・第3回 幸せのフクロウづくり お楽しみタイム ・各回とも、要介護家族一時預かり所「くつろぎの家」を併せて開催 	<p>11/7 地域福祉センター 参加者 14 人 2/20 地域福祉センター 参加者 10 人 くつろぎの家 参加者延べ 13 人</p>
<p>福祉車両等貸出事業</p>	<p>◇障害者移動支援事業(受託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいや傷病により、福祉車両が必要な方への貸出 40 回 <p>◇ボランティア等車両貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協等が行う買い物ツアー等、地域活動者等への車両貸出 35 回 	

共同募金事業

【 赤い羽根共同募金方法別実績 】

募金方法	募金額	募金ボランティア数等
戸別募金	4,533,200円	949人
街頭募金	44,309円	17人
大口募金	1,059,360円	477人
紙箱募金	19,890円	13校1,025人
職域募金	673,750円	1,513人
イベント募金	0円	
店頭募金	116,201円	48ヶ所
自動販売機募金	34,866円	4ヶ所
その他の募金	16,838円	2件
預金利息	18円	
合計	6,498,432円	

目標額	5,000,000円
実績額	6,498,432円
達成率	130.0%

【 歳末たすけあい募金方法別実績 】

募金方法	募金額	募金ボランティア数
戸別募金	4,429,800円	795人
その他の募金	0円	
預金利息	2円	
合計	4,429,802円	795人

【 歳末たすけあい募金配分金事業 】

○募金運動期間：12月1日～12月31日

○民生委員の協力を得て、下記対象者へ1世帯あたり3,000円の訪問金を配布した。

訪問対象者	件数	配分額
ひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯	1,170	3,510,000円
重度心身障がい者のいる世帯	20	60,000円
準要保護児童生徒のいる世帯	63	189,000円
75～79歳ひとり暮らし高齢者	18	54,000円
生活に困窮している世帯	1	3,000円
合計	1,272	3,816,000円

○市内の保育園・幼稚園・小学校・中学校へ図書カードを配布した。

	中学校	配分金額	小学校	配分金額	認定こども園 保育所等	配分金額
本所	2校 490人	55,000円	9校 762人	99,000円	10園 555人	77,000円
大佐	1校 65人	10,000円	1校 109人	15,000円	1園 55人	10,000円
神郷			2校 61人	8,000円	2園 37人	6,000円
哲多	1校 72人	10,000円	3校 140人	18,000円	2園 76人	13,000円
哲西	1校 64人	10,000円	2校 77人	13,000円	1園 52人	10,000円
計	5校 691人	85,000円	17校1,149人	153,000円	16園 775人	116,000円
				配分合計	38校・園 2,615人	354,000円

介護保険事業

【 居宅介護支援事業 】

	延べ認定調査	延べ居宅サービス計画	延べ介護予防 居宅サービス計画
中央	37件	1,533件	146件
神郷	25件	989件	112件
計	62件	2,503件	258件

【 訪問介護事業 】

	訪問介護		総合事業訪問介護	
	利用者数(月平均)	延べ利用回数	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	36.5人	3,912回	30.5人	1,745回
神郷	15.3人	1,423回	15.8人	876回
計	51.8人	5,335回	46.3人	2,621回

【 通所介護事業 】

	通所介護		総合事業通所介護	
	利用者数(月平均)	延べ利用回数	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	56人	5,300回	26人	1,300回
神郷	44人	4,388回	12人	618回
計	100人	9,688回	38人	1,918回

【 訪問入浴介護事業 】

	訪問入浴介護		介護予防訪問入浴介護	
	利用者数(月平均)	延べ利用回数	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	9人	391回	0人	0回

障害福祉サービス事業

【 居宅介護事業 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	3.0人	165回
神郷	1.0人	36回
計	4.0人	201回

【 障害者デイサービス事業 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	1.7人	77回

【 移動支援事業（個別支援） 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央	0人	0回

在宅福祉事業

【 障害児入浴サービス事業 】

○18歳未満の身体障がい児の入浴サービス

施設名	利用者数(月平均)	延べ利用回数
神郷ヘルプセンター	0人	0回

【 新見市社協高齢者等生活応援隊事業 】

○概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者等支援が必要な方に対する、ホームヘルプサービス

施設名	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央ヘルプセンター	0人	0回
神郷ヘルプセンター	0人	0回
計	0人	0回

【 新見市産後ヘルパー訪問事業 】 (受託事業)

○産後の体調不良により家事が困難な家庭等に対する、ホームヘルプサービス

施設名	利用者数	延べ利用回数
中央ヘルプセンター	1人	1回
神郷ヘルプセンター	0人	0回
計	1人	1回

【 子育て支援ヘルパー訪問事業 】 (受託事業)

○児童の養育が困難で子育て支援が必要な家庭に対する、ホームヘルプサービス

施設名	利用者数	延べ利用回数
中央ヘルプセンター	0人	0回
神郷ヘルプセンター	0人	0回
計	0人	0回

団体活動支援

○各種機関との連絡調整、事業実施における支援を行い、団体の自立を推進した。

◇新見市老人クラブ連合会
◇新見市遺族連合会
◇新見市身体障害者福祉協会
◇新見市福祉ボランティアの会・神郷地域ボランティア協議会・哲西町ボランティア協議会

◇新見市社会福祉法人連絡協議会

新見市内の社会福祉法人10法人により新見市社会福祉法人連絡協議会を設立し、制度の狭間の課題などに連携して取り組む。

期 日	会 議 等	内 容
6/15	令和2年度総会	・監事の選任 ・事業報告・収支決算、事業計画・収支予算ほか
7/27	法人運営会議	・法人ガイドブックについて ・法人ガイドブックを510部作成し、10月に高校、大学やハローワーク等関係機関に配布。
7/28	生活困窮者支援会議	・新見市生活相談支援センターの事業内容について ・生活困窮者支援の現状と課題についてのアンケート集計結果について

7/28	災害支援会議	・災害対策の現状と課題についてのアンケート集計結果について
その他	その他研修会の開催及び参加	<ul style="list-style-type: none"> ・8/19、8/26 緊急！心配ごと相談会（新見市社協主催）の共催実施 ・11/15 新見市社会福祉協議会合併15周年記念福祉大会への後援・参加 ・12/12（土）にいみ権利擁護推進セミナーへの後援・参加

ボランティア保険加入促進

種 類	加入数	備 考
活 動 保 険	3, 8 7 8人	加入年度に適用される保険
行 事 用 保 険	5 9件	1行事のみに適用される保険

※上記のほか送迎サービス補償、福祉サービス総合補償などでボランティア活動を推進。

人材育成活動

○大学・高等学校、一般のホームヘルパー、介護福祉士、社会福祉士等の実習生を受け入れ、同行訪問等現場実習の指導を実施。